

## 甲斐市議会議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 令和元年12月3日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（8名）

委員長	五味武彦君	副委員長	伊藤毅君
	秋山照雄君		金丸幸司君
	松井豊君		有泉庸一郎君
	内藤久歳君		藤原正夫君

議長 清水正二君

### 欠席委員（1名）

金丸寛君

### 傍聴議員（1名）

斉藤芳夫君

---

### 職務のために出席した者の職指名

議会事務局長	本田泰司	書記	輿石文明
書記	長田大地	書記	中込美智子

### 議題

- 1 委員長の互選
- 2 議会報告会（市民と議会の対話集会）の開催について
- 3 その他

開会 午後 1時26分

○書記（輿石文明君） 改めましてこんにちは。

ただいまから議会改革特別委員会を始めさせていただきます。

初めに、副委員長挨拶、五味副委員長、お願いいたします。

○副委員長（五味武彦君） こんにちは。ご苦労さまでございます。

委員長の互選があります。あとは、2月の対話集会等々がありますので、ご検討よろしく  
お願いしたいと思います。

以上です。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

続きまして、議長挨拶、清水議長、お願いいたします。

○議長（清水正二君） 改めましてこんにちは。

12月ということで、カレンダーも残り1枚ということで、季節感がない昨今ですけれども、非常に気ぜわしい中でご参集ご苦労さまでございます。

本日は、私の議長就任ということで、委員長の互選と、それから市民との対話集会について、各委員の皆様のご提案をいただきながら、議会改革特別委員会に臨んでいただきたいと思  
います。よろしくお願いいたします。

○書記（輿石文明君） ありがとうございます。

それでは、議事の進行につきましては五味副委員長、よろしくお願いいたします。

○副委員長（五味武彦君） それでは始めさせていただきますが、前もって、議長が交代とい  
うことで、新たに秋山委員を迎えての最初の会議となります。議事がスムーズに進行できま  
すよう、ご協力お願いしたいと思います。

委員長が欠員ですので、副委員長の私が委員長の職務を行いたいと思います。

ただいまの出席委員は8名でございます。定足数に達しておりますので、これより議会改  
革特別委員会を開会といたします。

なお、金丸寛委員は欠席の連絡がありましたので、報告をさせていただきます。

○副委員長（五味武彦君） 本日の会議を開きます。

内容に入りたいと思います。

初めに、内容の（１）委員長の互選を行いたいと思います。

議長交代に伴って、清水委員長が委員を辞任いたしましたので、委員長が欠員となっております。

委員長互選の方法は指名推選としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（五味武彦君） 異議なしということで、それでは、お諮りいたします。委員長の互選については、会議規則第126条第5項の規定により、指名推選によりたいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

したがって、委員長の互選は指名推選によることに決定いたしました。

どなたか推薦ございますか。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） 委員長が欠員になったということで、本来ならば自動的に副委員長という流れもあるわけですがけれども、五味副委員長に関しましては広報と兼任ということでもあります。そういう意味においては、委員会の運営上全く問題がなければ、五味副委員長がそのまま昇格して委員長をやっていただくということでいいと思いますけれども、その辺について問題なければ推薦をしたいと思います。

以上です。

○副委員長（五味武彦君） 事務局、これは。

〔「特にないです」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（五味武彦君） ただいま、内藤委員から推薦がありました。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

それでは、委員長を指名します。

議会改革特別委員会委員長には、私、五味武彦を指名いたします。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

よって、議会改革特別委員会委員長には、私、五味武彦が当選いたしました。ありがとうございました。

それでは、就任の挨拶をさせていただきます。

今、内藤委員からも発言があったんですけども、議会広報常任委員会の委員長をやっています。実は、リニューアル化ということで、そちらも抜けられない部分があるということでございます。2つの委員長を同時にやるというのが非常にちょっと私とすれば、心苦しい部分があります。ただ、ご推薦もあったということなので、どのぐらいの期間になるかわかりませんが、期間中は頑張りたいというふうに思っています。一つは、対話集会のことを精いっぱいやらせていただきたいということで、今後よろしくお願ひしたいと思ひます。以上でございます。

それでは、私が委員長に就任いたしましたので、副委員長が欠員となりました。

これより、副委員長の互選を行いたいと思ひます。

副委員長の互選はいかがいたしましうか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 副委員長の件についても、委員長の指名推選でお願いしたいと思ひます。

○委員長（五味武彦君） ただいま、内藤委員から委員長の指名推選とする提案がありました。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それではお諮りいたします。副委員長の互選は、会議規則第126条第5項の規定により、指名推選によりたいと思ひます。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

したがって、副委員長の互選は指名推選によることに決定いたしました。

ここでお諮りいたします。被選挙人の指名方法は、委員長において指名することにしたいと思ひます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

よって、被選挙人の指名方法は、委員長において指名することに決定をいたしました。

それでは、副委員長を指名させていただきます。

副委員長には、伊藤毅委員を指名させていただきます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認め、副委員長には伊藤毅委員が当選されました。

ただいま当選されました伊藤毅副委員長より、就任の挨拶がございます。自席でお願いいたします。

伊藤副委員長、どうぞ。

○副委員長（伊藤 毅君） 皆様、ありがとうございます。

ただいまの議会改革特別委員会副委員長に仰せつかることになりました、伊藤毅です。よろしくお願いいたします。

より市民の皆様のために、よりよい議会改革を目指したいと思います。五味委員長をサポートしながら頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（五味武彦君） 以上で、正副委員長の互選を終わりたいと思います。

(1) が終わりました。2番目に入りたいと思います。

(2) 議会報告会（市民と議会の対話集会）の開催についてを議題とさせていただきます。

本日は、今年度の開催内容などの方向性を協議したいと思っております。

初めに、事務局よりこれまでの開催状況、また甲府市議会で11月11日と12日に議会報告会と意見交換会を開催しております。わかる範囲で内容の説明を求めます。

輿石係長。

○書記（輿石文明君） それでは、議会改革特別委員会の次第の裏面1ページをお願いいたします。

これまでの対話集会の開催状況を説明いたします。

平成24年度から平成30年度までで、合計15回開催をしております。平成24年度、25年度につきましては、竜王、敷島、双葉の3地区で開催をしております。平成26年度につきましては、竜王地区で全体会、また、双葉地区となっております。平成27年度は竜王地区と敷島地区、平成28年度は竜王地区と双葉地区、平成29年度は竜王地区と敷島地区という感

じで、敷島と双葉については交互に開催をしております。平成30年度につきましては、全体会として竜王で議員定数、議員報酬をテーマに開催をしたところでございます。

続きまして、甲府市議会の市民と議会の交流会の概要について、説明をさせていただきます。

お手元のこちら、チラシをお願いいたします。

甲府市議会では、11月11日と12日に市民と議会の交流会を初めて開催したそうです。この事業につきましては、企画運営は議会運営委員会が主体で行ったそうです。委員は12人のメンバーだそうです。開催場所、開催時間は記載のとおりであります。市民の参加人数につきましては、両日とも約100名の参加があったということです。

次に、カラー版のこちら議会だより、めくっていただきまして2ページ、3ページお願いいたします。

開催内容ですけれども、第1部が議会報告会で、お手元に、別冊で配付してありますけれども、こちらの内容で議会報告を行ったそうです。約40分間説明をしたそうです。

第2部が市民と議員の意見交換会になりますけれども、参加された市民を11テーブルに分けて、1テーブルが市民が9人、議員が2人で、「未来の甲府に望むこと」をテーマに、市民の意見を聞いたそうです。

そのグループ分けですけれども、1日目は市民の方を誕生日の月で整列をしていただきまして、割り振りをしたということでございます。また、2日目は生まれ年の干支で整列をしていただき、割り振りをしたそうです。

また、正副議長、議運の正副委員長と写真担当の議員は、各テーブルの意見交換には参画をせず、フリーでいたそうです。

それから、開催の周知につきましては、市議会のホームページと議員の個別によるこちらの、先ほどのチラシの配布と、甲府駅で集団でチラシの配布も行ったそうでございます。

確認している内容は以上でございます。

○委員長（五味武彦君） 説明が終わりました。

今の輿石係長の説明で、何か質問があればお伺いさせていただきたいと思います。

11月に初めて甲府の市議会でやったという、その内容の説明になったと思います。あくまで参考ということでお願いいたします。

伊藤副委員長。

○委員（伊藤 毅君） ちょうどこの甲府の交流会なんですけれども、知り合いの議員がいる

ということで話は伺ってしまして、とてもこういう本当の意見交換会として、テーブルごとにグループ分けしてやったというのがすごいよかったよという話は伺っております。また、かなり甲府の議員さんのほうも動員を努力されてしまして、SNS等いろいろな形で動員をいろいろ皆さんで頑張っていたようですので、こういった内容は考えなければならないと思うんですけども、こういった形式でやるというのは私はとても賛成だと思っております。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 甲府の議会の開催について、ほか何かありますか。

松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） 最初、議会報告で、あと意見交換というのは、前回までうちでやっていたような様式というか形式というか、大体そんなイメージでいいんでしょうか。

○委員長（五味武彦君） 説明できますか。

輿石係長。

○書記（輿石文明君） 先ほども説明しましたけれども、こちらの資料で、意見交換の前に議会報告ということで40分間説明をしたそうです。その後、グループ分けの時間をとって、各テーブルごとに分かれて、先ほど言った市民9人、議員2人で、そのテーブルの方の意見を議員が聞いたというような内容ですので、今まで甲斐市でやっていたのとは、第2部のほうは内容が違います。

○委員長（五味武彦君） ほか、ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） じゃ、一旦質疑を終了させていただきます。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、対話集会の開催内容、それから開催日時、開催場所などの方向性を決めたいというふうに思います。

テーマとなっています対話集会、まずこれを今年度はやる、やらない、ここから入りたいと思います。いかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） 特にご意見がなければ、やる方向でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） よろしいでしょうか。

それでは、今年度も開催ということを決めさせていただきます。

それでは、開催内容等々に入りたいと思います。それから日時、開催場所と。これは前後しても構わないと思います。

まず、開催内容からいきたいと思います。

ご意見ございますか。

私から、前回、敷島台での常任委員会の意見交換会に出させていただきました。ああいう形で、本当の車座みたいな形で、市民が自由に語り合えるという場、伊藤副委員長もおっしゃっていたんですけども、そういう場はつくりたいというふうに私は個人的には考えています。形的にどうなるか、これはまた今からのあれですけども、今までみたいにひな壇、それから市民という形で、どうしても発言できる方がなかなか限られているという部分がありますので、平たい場所でグループ分けして、皆さんにご意見を伺うという形が一番いいのかなというふうな気持ちではおります。この間敷島台でやったときは、非常に全員がいろいろな意見をおっしゃっていた、自由にやっていたという部分があるので、市民と議会が近くなるという設定が私は勧めたいなということで、私はお願いしたいと思うんですが。

松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） 敷島台というのは、この間の厚生環境常任委員会のやつですね。

○委員長（五味武彦君） そうです。

松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） 今までの様式がもう何年か来ているので、確かに何か模様がえとかしなきゃならんのかなとは思ったので、それも一つの方法かなと思いますが、私もちょっとまだ考えがまとまりません。

○委員長（五味武彦君） この場で内容どうこうということになるとちょっと大変な部分があるろうかと思いますが。そういう方向も一つはあるということでご承知おきいただきたいと思います。

これは後日話をするにしても、次の開催日時ということで先に、入りたいと思います。内容はまた後ほど検討させていただきたいと思います。

開催日時につきまして、事務局の案はありますか。

去年は2月に行いました。ことし、もしやるのであればということで、まず、今までみたいに、29年度みたいに2カ所もしくは3カ所でやるのか、それとも去年やったように1カ所でまとめるのか、ここはいかがなものでしょうか。

有泉委員、どうぞ。

○委員（有泉庸一郎君） 先ほどの委員長、副委員長が言われたように、話しやすいテーブルみたいな、車座になって意見の交換をするというようなお話であれば、やっぱり全体でやればいいんじゃないですか、1カ所でもって。と思います。

○委員長（五味武彦君） 有泉委員から、1カ所でどうかという話がありました。

ほか、ご意見は。藤原委員、どうぞ。

○委員（藤原正夫君） やっぱり私もそう思います。今までの過去を見ても、大体全体は、昨年は約100人ということでしたけれども、人数も二、三十人というようなことだと思いますので、30人、40人かな、そんなのを甲府方式とテーブル分けですれば、ちょうど十何人ぐらいのグループに分けてやればいいと思います。

先ほどの説明だと、甲府の市議会は確かに、初めてのことでですから、駅前に出たり、みんなSNSだったり、いろんなことで周知を図ったということで、これだけ成功したというのかなというのがありますけれども、毎年毎年もう、過去さかのぼれば7年、8年間やっているわけですから、市民の方も浸透はしていると思うんですけれども、なかなか出てくる人も限られたような人もいるような心配もしますので、1カ所で、そして五、六十人集まればこれを目安に、100人来てくれればいいんですけれども、そんなふうなわけでしたら1カ所のほうが一日でどうかなというのが私の意見ですけれども、ご検討願います。

○委員長（五味武彦君） ありがとうございます。

ほか、ご意見ございますか。1カ所か、2カ所か、3カ所か。

松井委員、どうぞ。

○委員（松井 豊君） もう12月だし、やるとすれば多分2月くらいになるしということは、準備期間も考えると、1カ所集中してそういう小グループでという方法がいいのかなと、ちょっとイメージとしては考えています。

○委員長（五味武彦君） 3人の方からご意見いただきました。

ほか、ご意見あれば、お伺いしたいと思います。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） なければ、今年度については1カ所ということでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、ご異議なしということで、1カ所で開催ということに決定させていただきます。

開催日時のほうに入りたいと思います。

松井委員がおっしゃいました、大体2月ぐらいだろうということなのですが、具体的に事務局の案もあります。

輿石係長。

○書記（輿石文明君） まず、開催の時期ですけれども、議会だよりの1月号が1月25日に発行になります。そちらのほうで、開催記事を載せまして周知を図る関係がありますので、2月が一応候補の予定です。

開催内容が決まらないと、どういう会場がいいのかということもありますけれども、竜王北部公民館ですともうあきがほとんどなくて、2月12日水曜日しかあいていないような状況ですけれども、一応今あいているのは、2月12日だと竜王北部公民館の4階ホールがとれます。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 事務局から今説明がありましたけれども、竜王北部公民館でやるとすれば2月12日、建国記念日の翌日ですか、水曜日の夕方というふうな格好、夕方から夜という形になります。内容についてのいろんな討議があろうかと思えますけれども、場所については先にもう決めておいたほうがいいかなというふうに思うんですが、2月12日、特に問題がなければそれにしたいと思うんですが、いかがでしょうか。

秋山委員、どうぞ。

○委員（秋山照雄君） 24年度は2月にやっているだけけれども、北部は大体10月、11月ごろやっていますよね。2月というのは日が短いし、寒いし、夜するから来るほうもえらいですよ。だから、もうちょっと陽気がよくなってすることを考えたらどうですか。

○委員長（五味武彦君） ご意見ございました。来やすいようにということがあります。ただ、3月議会が始まっちゃうという部分がありますと、次の暖かいところとなると4月以降という形になりますので、それでということも、一つの理由とすればあります。そうすると今年度はこれは開催なしということで、次の開催に持っていっちゃうというご意見がありましたけれども、これに対してはいかがでしょうか。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） それは、一応こういう意見がたまたま出たということで、今後の課題として、年度内に1回はやっぱり今までの流れとしてやってきているので、そういう背景もあって、今まで回を重ねてきているから、大体時間的にも、これ11月ごろだけれども、今

回はまあそういうことで何とか実施して、次にもっと早い時期に設定をするというような取り組みの中で、今回についてはこの日程でやったらどうですか。

○委員長（五味武彦君） 内藤委員からご意見ございました。今年度は今年度でこの時期にやるということで、来年度以降ですね、日程等々、そういったものを考えてやるという、参考の意見ということでお伺いということによろしいですか。

○委員（内藤久歳君） はい。

○委員長（五味武彦君） それでは、2月12日、こちらで決定をさせていただきますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） はい。

時間等々につきましては、5時ごろから10時ごろまで押さえてあるということなので、この中で開催内容によっていろいろ時間の動きがあろうかということです。2月12日水曜日という形です。竜王北部公民館という形になります。

日時、それから開催場所が両方とも決まりました。2番、3番目を先に決めちゃったんですが、開催内容等々ですね、また改めて戻りたいというふうに思います。

先ほど、有泉委員、それから松井委員もおっしゃっていたんですけども、そういう車座的な、市民と対等な場でグループで話したらどうかという形に意見がありました。伊藤委員からもそんな話がありましたけれども、いつもどおり、スクール形式ですか、そういう形でやったらどうかということもあろうかと思いますが、これについてはどうですか。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 市民との交流の方法がそういうことで決まれば、必然的に今度、そういうテーブル形式で、甲府のスタイルでやるということになれば、それを前提にしたそういうテーマを選定するという形になると思うんですよね。だから、もしその方法だけ決めちゃって、どれをテーマに持っていくかということのほうがいいかなというふうに思いますので、スタイルだけ確定をしてもらって、それへ向けてテーマを決めるというふうなことでいいじゃないかと思うんです。

○委員長（五味武彦君） 内藤委員から、とりあえず形式、スタイル、こちらのほうをまず決めて、それから後ほどテーマを決めようというふうな形でどうかという話がありました。

ほか、ご意見ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） なければ、スタイルだけ決めさせていただきたいというふうに思います。

グループごとというスタイルでいきたいという案がありますので、私のほうから提案させていただきますが、それでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ありがとうございます。

それじゃ、グループごとということで、参加人員とか議員をどういうふうに割り当てるとかいうことは、また次の問題。テーマは何にするか、これも次の12月の会期中に議会改革特別委員会を開催させていただいて、それまでにテーマであり、どうやって議員が入り込むか、どういう方法でやるかというのを決めさせていただければありがたいということなので、きょうの場合は方向性という部分であらかじめ検討させていただきました。

ここままで、特にございますか。

有泉委員、どうぞ。

○委員（有泉庸一郎君） そういう幾つかのグループに分かれてやるという方向だということであれば、そんな難しいテーマというわけにいかないの、だからここに、甲府市では「未来の甲府に望むこと」というようなテーマでやっているようだけれども、同じような、未来でなくても、今の現代でも、市に望むことみたいな大きなテーマとして話し合えば、意見交換すればいいんじゃないかと思うんですけども。余り具体的に細かくしても、なかなか話はいけません。

○委員長（五味武彦君） 有泉委員からご意見ございました。

確かに、個別に設定しちゃうと難しい部分がありますので、自由に発言していただくということであれば、もう大まかなテーマでやったらどうかというのが一番やりやすい部分、いろんな意見があろうかと思えます。ただ、それはそれで、テーマとすればそれが一番いいのかなと私自身も思うんですが、ほか、内容に戻りましたけれども、テーマというか。次にまた議会改革の会議ありますので、とりあえずそれも参考意見として頭の中へ入れておきたいと思えます。いかがですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） なければ、進めさせていただきたいと思えます。

方向性等々が決定いたしましたので、次回の会議予定に入りたいというふうに思います。

12月中に議会だよりの掲載記事や、周知用のチラシの内容を決定する必要があります。

また、議運と全協での報告も必要であります。開催内容、開催日、開催場所の確定等々を定例会の最終日までに行う必要が出てきます。そうしますと、スケジュール的に定例会中の16日、17日、18日の代表質問、一般質問の後、早く本会議が終わった日に特別委員会を開催したいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 異議なしという形になりますので、16日、17日、18日のとれそうなところ、事務局どうですか。

ちょっと休憩に入りたいと思います。

休憩 午後 2時00分

再開 午後 2時20分

○委員長（五味武彦君） それでは、再開をさせていただきます。

まず、次の議会改革特別委員会の開催になりますが、16日、17日、18日のいずれかという形で決めさせていただきたいと思います。時間の余裕のある日に設定したいということなので、よろしくをお願いします。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それから、内容のほうにまた戻りますけれども、形式的にこちらのほうで案として出たのが、内容のやり方ですけれども、約2時間ぐらいになろうかと思えますけれども、オープニングに10分もしくは15分程度の議会の紹介をさせていただいた後、グループごとにディスカッションと、話し合いというふうな形にいけばいいかなというふうに思います。

それから、グループ分けの方法になります。グループ分けにつきましては、ちょっとお客さんに対しては待ち時間があるかと思いますが、それぞれの意見を自由に発言していただく、それから意見が偏らないという部分をとると、来た人、列に並んでいただいて、若干時間かかりますが、それぞれ6、もしくは7つに分けたテーブルにそれぞれ議員が案内すると、もしくは指示するという形でいけば、平均的なグループの人数になろうかなというふうに思います。とりあえず6、7、これはまたどのくらい入るかによって違って来るんですけど

も、一応そんな予定にさせていただきたいという形です。

それから、伊藤委員から、いろんな人が来やすいような設定にしてくれという意見がありました。これについても、子供連れ、もしくは子供連れというか小学生高学年以上ぐらいかな、あんまり下まで下げるわけにいかないし、もし赤ちゃんとかそういった子連れの会議が欲しいということであれば、別途また来年度そういう形式、土曜日か日曜日とか、そういう日に設定して、特別なテーマを考えてやるということも考えられますので、今回につきましては年齢制限は、子供連れでも来やすいような少し緩和策をとった募集にしたかどうかというふうに思います。

それから、内容について先ほど有泉委員から話がありましたけれども、大まかな甲斐市の未来なのか、そういう形でいろんな形を話をさせていただくという形になろうかと思っています。

これまでのまとめというか、話をさせていただきました。何か、ちょっとこれが違うよといったことがあれば、お話しさせていただきたいというふうに思います。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） それから、冒頭のオープニングの際の編集ですね、こちらについては、また私と伊藤副委員長等々と、どのぐらい、どこをどういうふうに強調するか、どこを省くかという形で、わかりやすく、また短くという形の編集を事務局とやらせていただくという形になろうかというふうに思います。

戻ります。テーマについて、もしここで決めることができればお願いしたいんですけども、有泉委員から大まかなそういう話はどうか、もしくは逆に特化したものがないかという話も出てきますけれども、どうでしょうか。何でもしゃべりたいということであれば、あんまり特に、大まかなテーマにしておけば、いろんな人が話できるかなと。

大まかなものなので特に、甲斐市の未来であるとか、あすの甲斐市であるとかいうふうな形でやっておけばいいのかなと。これも副委員長と話をさせていただくことで、もし意見がなければ、こちらのほうで用意しますが、もし意見あれば。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） 少し時間をもらって、次回決める方向でどうですか。

○委員長（五味武彦君） 後日、正式なものは決めさせていただくという形です。

それから、私から提案したいんですけども、このやり方ですね、市民が一々質問する、それに議員が答えるということは、ちょっと私は控えたいと思うんです。今回は、市民がいろんな言いたいことを言う、それに対して、必要があれば応答はしますけれども、そういう

形に私はしたいと思うんですが、一々それを質問に答える、答えられる問題があればいいんですけども、答え切れない部分も出てくるという部分がありますので、基本的には市民の意見を聞く、市民が言いたいことを言う、それを聞くと。それをどうやって後ほど議会活動に反映していくかというのはそれぞれの考え方だと思うんですが、どうしても意見を求めるということであれば、そのグループに入った議員が答えるという基本的な線を考えたいというふうに思うんですが。私の考えはそうなんですが、これに対してはどうでしょうか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） 委員長の今、提案、私はそれでいいと思います。とは言ってもある程度そこは、その議員さん、3人の方だし、答えられる部分もあるけれども、ある程度今言ったように、市民の意見を聞いて、またこっちに持ってくるということが、委員長がこんなことをしたいという流れのようですので、私もそのほうに、その場その場で臨機応変ということにも、答えられる部分はあってもいいんですけども、内容によっては。ある程度のことはそんなふうに進めていったらよかろうかなと、こんなふうに思います。

以上。

○委員長（五味武彦君） ほか、ご意見ありますか。対応について。

内藤委員、どうぞ。

○委員（内藤久歳君） その件だけでも、各テーブルで、みんな議員もそれぞれに一応いるから、基本的にそんな問答の、そういったものではないけれども、これについてはどういう答え方するというある程度のやりとりをするマニュアルというか、そういうものを持っていて、あつちはこう言った、こっちはこう言ったということは、例えば、具体的に緑化センターのこと出るじゃないですか。それで、あつちはこう言った、こっちはこう言ったとバラバラになっちゃうので、個別の案件に関してはもう統一して、今、特別議会で検討しているから、今後の動向を見てくれよという程度で抑えておかないと、あんまりこう深く掘り下げちゃうとうまくないので、その辺のところをちょっとやったほうがいいかなという気がする。当然それ出てくると思うし。

○委員長（五味武彦君） ほか、どうでしょうか。

伊藤副委員長。

○委員（伊藤 毅君） 基本的には、市民の皆さんの意見を聞くというフリートークみたいな形にはなるとは思うんですけども、大きなテーマを、甲斐市の未来とか、そういった形に決めた中で、テーブルごとで多分いきなりしゃべれる方はいないと思うので、ある程度テー

マを議員側から投げかけて、それについてフリートークをしてもらおうという。例えば、甲斐市の将来、スポーツ選手はどんな選手出てほしいとか、例えばそういうのを幾つか。それだけではなく、将来の防犯対策はどう思いますかとか、災害対策はどう思いますかという、そういう投げかけをつくっておいて、それに対してフリートークという形はどうですか。

○委員長（五味武彦君） きっかけという部分だと思うんです。それぞれでテーマを決める、いろんなテーマがあるので、ただ話のきっかけとして。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） そういうことであれば、さっきも言ったように、もう投げかけがテーマじゃないけれども、今言ったように具体的に防災とか子育てとか、そういうものがあるじゃないですか。それを3つぐらい各テーブルで共通のテーマとして投げかけて、それに対して意見を聞くという格好でやっていけば、うまく流れるじゃないかなと思うね。だから、でっかいテーマじゃなくて、今言ったように、市の将来について、この点はどうだこうだという、そういう投げかけ方をしたらいいのかなと、今の案の一つのやり方としては。

○委員長（五味武彦君） Aテーブルが防災、Bテーブルが教育じゃなくて、一つのテーブルに幾つかテーマを出しておいて、そういうことだよ。それは方法がいいと思うんですよ。

ただ、それを誘導していくために、議員が誘導するのか、これしかないと思うんだけど、市民がやってくれるわけにはいかない。そうすると、6人もしくは7人のリーダーさんをつくっておかないと、リーダーさんというか司会役というか。これをつくっておかないといけないという部分になってくると思います。

テーマはまた後ほど。ただ、緑化センターとか、あの辺はちょっと取り上げ切れない部分がありますが、ただ共通意見として、内藤委員のおっしゃるように、緑化センターの考え方とか、そういったものは共通しておかないと、こっちはそうだ反対だ反対だ、こっちはいいよいいよとなるとおかしくなっちゃうので、これはやっぱり議会として一本化と言ったらなんですが、共通の知識というか判断を持っておかないと、後々困るかなということはあるかと思います。もちろん、聞くことは聞きますけれども。やり方の内容にも、行ったり来たりの話が出てきて申しわけないんですけども、初めてやることなので、形を変えるということはそれなりのちょっと難産な部分があるかと思いますが、それについても次回の特別委員会にて検討、もしくはこちらのほうで考えたものを発表すると、それを検討していただくという形をとりたいと思います。

よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ちょっと休憩します。

休憩 午後 2時33分

再開 午後 2時33分

○委員長（五味武彦君） 再開します。

次の特別委員会は、16日、17日、18日のいずれかになりますけれども、その後、もう一回12月中に、23日から27日の間で会議を開催させていただきます。一応その予定を組ませていただきたいと思います。それだけ時間がないという裏返しになるかと思っておりますけれども。

〔「幾日から幾日になるんだっけ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 23日から27日の間のいずれかの日に、その際に、議会だよりのどういうふうに記事を載せるかとか、それから周知のチラシの案に入りたいというふうに思っています。具体的にもうその時点では出さないとまずいかなというふうに思っていますので、その際に協議をしたいというふうに思います。

今まで、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、以上で議会報告会（市民と議会の対話集会）の開催についてを終わりたいと思います。

続いて、（3）その他を行います。

委員よりその他、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 議長からありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 事務局ありますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） なければ、その他を終了させていただきます。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、議会改革特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時35分